

## 令和元年度認知症初期集中支援チーム 活動状況について

## 1 会 議

## (1) 認知症初期集中支援推進会議（令和 元年 7 月 3 日）

- ・ 認知症サポート医 委嘱状交付（金森和心会 雲雀ヶ丘病院 越智 裕輝先生）
- ・ 認知症初期集中支援チーム事業計画、認知症初期集中支援推進事業体制について
- ・ チーム活動マニュアル及び様式の確認（試行的取り組みについて）
- ・ 事例検討

## (2) 認知症初期集中支援チーム員会議

- ・ 令和 元年 7 月 3 日 ケース検討 1 件 （昨年度からの継続）
- ・ 令和 元年 9 月 6 日 ケース検討 1 件 （新規）
- ・ 令和 元年 10 月 21 日 ケース検討 1 件 （新規）
- ・ 令和 元年 11 月 19 日 ケース検討 1 件 （新規）
- ・ 令和 元年 12 月 17 日 ケース検討 1 件 （新規）
- ・ 令和 2 年 1 月 29 日 ケース検討 1 件 （新規）

## 2 研 修

## (1) 認知症初期集中支援チーム員研修

- ・ 日程：令和 元年 8 月 24 日～25 日 1 名（東地域包括支援センター）
- ・ 場所：東京都

## 3 普及啓発活動

## (1) 認知症初期集中支援チームリーフレット配布及び相談窓口の説明

- ⇒ 認知症サポーター養成講座（出前講座）  
認知症に関する健康教育（地域サロンや包括支援センターの出前講座等）  
認知症の人と家族の会主催事業（相談会・つどい・オレンジカフェ）  
市内の医療機関や薬局等  
地域福祉懇談会等  
小高区商店街やまちづくり研修会等  
各地域包括支援センターの相談支援活動や家族介護教室等

## (2) 認知症ケアパス配布

- ⇒ 各保健（福祉）センター  
もの忘れ相談実施者  
認知症に関する健康教育（地域サロンや地域包括支援センターの出前講座等）  
各地域包括支援センターの相談支援活動や家族介護教室等

#### 4 認知症初期集中支援チームについて

##### (1) H30年度の課題への対応について

- ①「認知症初期集中支援事業」利用手続（書類作成）の煩雑さ  
⇒書類（様式）の見直しを行い、事務の簡素化を図った。
- ②チーム員会議等の調整に時間を要し、効率的でない。  
⇒・認知症初期集中支援チーム員研修受講者全員をチーム員とした。  
・サポート医・介護職・医療職のチーム員を事務局が調整してチームを編成し、実施しやすい場所や時間を設定して、チーム員会議を実施した。  
・ケース対応はチーム会議で行い、認知症初期集中推進会議では各チーム員の活動の情報共有や意見交換を行う場とし会議の整理を行った。
- ③関係部署、団体への事業周知について  
⇒「認知症相談会アウトリーチ型」のイメージで、相談・訪問など  
ネットワークの良い事業としての活用をすすめた。

##### (2) 今後の取り組み

- ・R元年度の認知症初期集中支援事業の評価を行い、事業の利活用を推進する。
- ・認知症の人やその家族などが相談した際に、相談された者が利用しやすく、早期に支援ができるような、認知症初期集中支援チームの運営や活動等の見直し・整備を図っていく。
- ・認知症に関する普及啓蒙として「認知症サポーター養成講座」の開催促進、相談窓口及び認知症支援事業の周知徹底と拡大を図っていく。

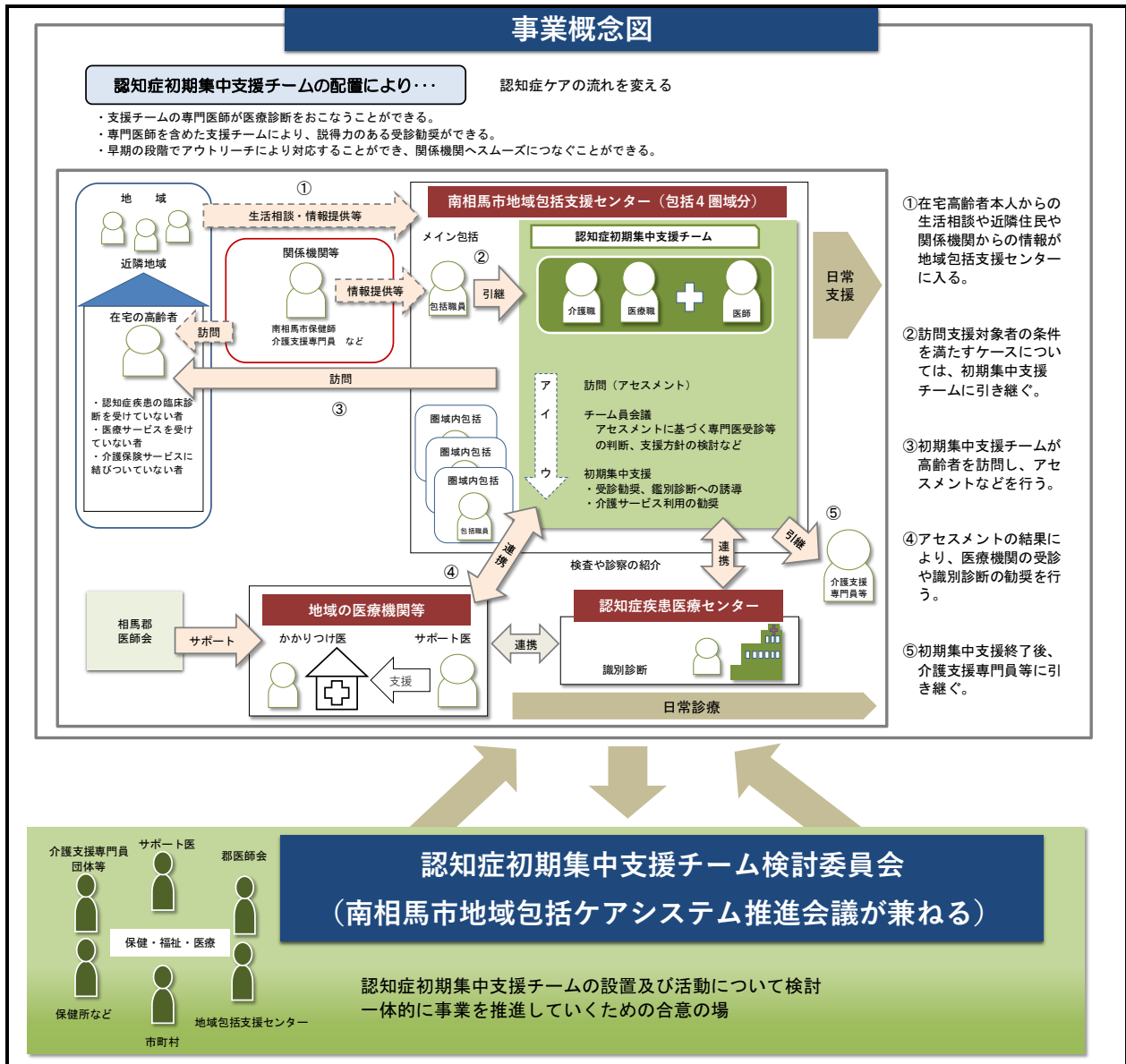
#### 参 考

##### ○地域包括支援センターにおける認知症相談人数

年 度	実人数	延べ人数
R 元年度	549	1,775
H30年度	637	1887
H29年度	503	1,337

(4月-12月末)

○認知症初期集中支援チーム事業概要



南相馬市高齢者総合計画より抜粋